

アウアさんだ

秋号



AQUA SANDA

Seasonal Information
From SANDA Water
Purification Plant

2016

Vol.

10

安全で安心な水をいつでも

金木犀が咲き柿が実り三田浄水場も秋色に変わりました。



■ Message

- 平成 28 年度実地訓練(事故訓練)
- N03 活性炭注入設備増設工事
- 兵庫県企業庁50周年記念シンポジウム
- 兵庫県自治学会研究発表大会

■ Information

- 浄水場内の生き物
- 園芸用に浄水発生土は
いかがですか?

☆ 近隣紹介



周辺の様子。田園風景の中に浄水場はあります。



◆平成 28 年度実地訓練(事故訓練)

想定

三田浄水場に

震度 5 強の地震発生

震度 5 強クラスの地震が発生したとの想定のもと、職員、運転管理業務受託業者の事故対応能力の向上を図るとともに、関係機関との連携・情報伝達を円滑に行うための実地訓練を 9 月 15 日に実施しました。

テレビ、ラジオの情報収集から始まり、職員の安否確認、場内外の緊急点検、水質検査、応急給水対応、取水口オイルマットの設置など本番さながらに行動しました。



訓練後の反省会の様子



非常時には水道が使えなくなるため、水道水を直接届ける給水車に給水を行う必要があります。給水栓を解放し給水栓操作訓練を行いました。訓練の終了後に反省会を実施し課題の抽出を行いました。



◆N03 活性炭注入設備増設工事



水道水のもとになっている水は、川やダムの水を使用するので、塩素と反応する物質やカビ臭物質が含まれていることがあります。昨今は植物プランクトンの増殖によりカビ臭物質が増えており、そのため臭いを消すための活性炭の使用量が増加していました。使用量の増加に対応するため、三田浄水場では2基の貯蔵槽（サイロ）を備えていましたが、新たに3基目を増設しました。



大型クレーン2台で貯蔵槽（サイロ）が活性炭注入棟に設置されました。貯蔵槽は高さが10メートル近くもある巨大なもので建屋の上部からクレーンで慎重につり下ろし据え付けが完了しました。



◆兵庫県企業庁50周年記念シンポジウム

兵庫県企業庁は発足50周年を記念したシンポジウムを11月1日、淡路市の淡路夢舞台国際会議場で開催しました。国の取組や先進事例の紹介を交えて、パネリストらが公営企業の将来について議論し、県内外の公営企業関係者ら約300人が参加しました。



◆兵庫県自治学会研究発表大会

県政及び県内市町行政の振興と地域の発展のため行政や地域に関する様々な課題について研究し、課題解決のための政策形成能力の向上と、組織や職種を超えた幅広いネットワークづくりを目指す兵庫県自治学会の研究発表大会が開催されました。武市所長が『兵庫県営水道の安定した事業継続—新水道ビジョンへの対応—』について発表しました。



平成28年10月15日(土) 15:30～ 場所：兵庫県立大学 神戸商科キャンパス



兵庫県営水道の安定した事業運営の方向性を人材育成に焦点をあて、創設期における人材養成の経過を踏まえた研究成果の発表を行いました。



◆浄水場内の生き物

ヒヨドリのひな



三田浄水場は、JR新三田駅と広野駅のちょうど中間あたり、西野上地区の武庫川沿いにあります。敷地の広さは、甲子園球場の約1.5倍(54,686 m²)。周辺には田園やなだらかな丘陵がつくるのどかな景色が広がっています。

場内は楠やカツカイブキ等の木々が植えられ小鳥や昆虫など様々な生き物が生息しています。

コシアカツバメのひな



アキアカネ(♀)



アキアカネ(♂)



トノサマバッタ



カイズカイブキ



●園芸用に浄水発生土はいかがですか？

浄水課程で発生した土を有効利用してもらうため、各浄水場で販売しています。



【販売条件】

- 1 m²程度で100円(税抜き)
- 購入を希望される方は、まずは事務所までお電話ください。
- 積込・運搬を含めて引取りはお客様ご自身でお願いします。

環境循環型社会の形成に向け、県発注(県土整備部)の土木工事に県営浄水場から発生した浄水発生土を混合した植生基材を使用するようになりました。



◆近隣紹介



特別展示として温古写真大作戦が開催されて「ホロンピア88」の写真などが展示されていました。三田市は三田ニュータウン開発により日本一人口増加率の高いまちになり、「ホロンピア88」の会場跡地に「ひとはく」が建設されたようです。



三田のニュータウン開発

人口増加率が日本一のまちに
三田市では1980年代に阪神圏のベッドタウンとして北摂三田ニュータウンが開発され、フラワータウン、ウッドタウン、カルチャータウン、テクノパークなどの新しいまちができました。一時期は人口増加率が10年連続で日本一になりました。

横の下に「ひとはく」ができた

昭和63(1988)年、フラワータウンで「21世紀公園都市開発局・ホロンピア88」が開発されました。会場となったのは、ゆひとほくのある深田公園です。メイン会場の「ホロンピア館」は深田大橋とビルを合体させた建物で、平成4(1992)年の秋に「人と自然の博物館」として生まれ変わりました。



兵庫県立人と自然の博物館は、三田市にある「人と自然の共生」をテーマとした自然史系の博物館です。1992年(平成4年)に設立され、通称「ひとはく」と呼ばれています。

9つのセクションからなる常設展示のほか、期間限定の企画展示や市民団体による展示会等を開催しています。このほか、化石クリーニングの様子がみれる「恐竜ラボ」(土・日・祝のみ)やさまざまなワークショップが行われる「ひとはくサロン」、建物と隣接した広大な芝生広場のある「深田公園」があります。

発行 兵庫県企業庁 北摂広域水道事務所 (三田浄水場)

〒669-1314 三田市西野上字上通り 152 番地
TEL. (079)567-1663 FAX. (079)567-1674
メール hokusetsusuidou@pref.hyogo.lg.jp

「アクアさんだ」編集委員

細井、西、松井、安田、西野、坂瀬、浅原